



新入職員紹介



下水道公社の職員として

◆プロフィール

丸山 由夏 (まるやま ゆか)

所属：本社

担当：総務課（事務職）

卒業：文学部日本語日本文学科

趣味：料理・食べること



入社の特徴

以前公衆衛生学の一環で下水道について学んだことがあり、普段意識していなかった下水道が日々の生活に欠かせないものであることを知りました。就職活動をする中で埼玉県下水道公社の存在を知り、私も日々の生活を支える公社の一員として働きたいと考え入社致しました。

今の仕事・やりがい・感じたこと

本社の総務課で経理を担当しています。学生のときは生活リズムも責任感も大きく違い、初めは分からないことばかりで不安でしたが、採用が決まってから大学卒業までの間にアルバイトとして働く機会を設けていただいたり、周りの先輩方の手厚いご指導やフォローのおかげで日々仕事に慣れていっています。

下水道公社は、幅広い知識や経験を得ることができる場所だと感じています。普段の業務である支払事務や契約事務の他にも、普及啓発のイベントに参加させていただいたり、技術職の方々と一緒に研修を受けて下水道についての知識を深めたりと、職種にとらわれず様々な経験をさせていただいています。

目標

社会人として、そして下水道公社の職員として、先輩方に少しでも近づけるように日々努力したいと思います。経理事務に関する講座等を積極的に受講して、スキルアップを図っていきたく考えています。

下水道公社に入社して

◆プロフィール

新村 直哉 (しんむら なおや)

所属：荒川左岸南部支社

担当：運転管理担当（機械職）

卒業：自然科学研究科 物質工学専攻

趣味：サッカー、水泳



入社の特徴

県民の生活環境の改善や公共用水域の水質保全を目的とする下水道事業に興味を持ちました。その中で、下水道事業の普及啓発に積極的に取り組み、全国的にも歴史のある埼玉県下水道公社に応募しました。

今の仕事・やりがい・感じたこと

現在の業務は、水循環センター水処理施設の維持管理や委託・修繕、保守点検の監督業務等です。

大規模なプラントには様々な設備があり、それらの構造や特性を理解するには幅広い知識と経験が必要と感じております。現場で実際に設備に触れて構造を学び、また先輩方に指導頂き知識を取り入れることで、少しずつではありますが下水道事業のノウハウや維持管理技術を身につけております。

目標

施設の機能を良好に維持するため、設備の状況を確認し的確な管理や修繕が実施できるよう、維持管理技術に関する幅広い知識を身につけたいと思います。また、下水道事業の公共性を自覚し責任感をもって職務にあたりたいと思います。

下水道のプロを目指して

◆プロフィール

平田 大樹 (ひらた だいき)

所属：荒川左岸南部支社

担当：運転管理担当（電気職）

卒業：工学部総合システム工学科

趣味：テニス、ドライブ



入社の動機

前職では材料メーカーで設備関連の仕事をしておりましたが、全国転勤や休日出勤が多く家族との時間が取れずにいました。そこでワークライフバランスが整っており、また公共設備の維持管理という非常にやりがいのある埼玉県下水道公社に応募し、平成27年度1月に採用されました。

今の仕事・やりがい・感じたこと

業務は主に中継ポンプ場の電気設備保守点検作業及びその監督業務、委託修繕の設計や日報作成、材料品の購入などです。

荒川左岸南部流域には中継ポンプ場が7箇所あり、各々で大きく運転方法や設備仕様が異なっています。それらの状況を正確に把握するのは簡単ではありませんが、現場で直に触れることで確実に知識として自分の中に蓄積していくのでそこに非常にやりがいを感じています。

目標

中継ポンプ場を始めとした各設備やその運転方法、設計思想を把握し、電気のみならず機械・水質の知識を持つ総合的な技術者を目指します。

プロフェッショナルを目指す

◆プロフィール

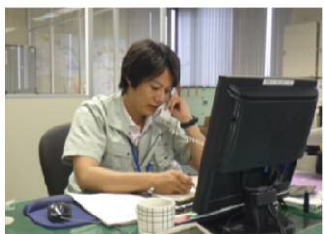
柳谷 匡良 (やなぎやまさかず)

所属：北部支社

担当：庶務担当（事務職）

卒業：経済学部 経営学科

趣味：ツーリング、ランニング



入社の動機

私は以前、物流関係の民間企業に勤めていました。人事異動による地方勤務を経て、愛着のある埼玉で働きたい気持ちが強くなり、下水道公社への入社を決めました。

今の仕事・やりがい・感じたこと

庶務担当の仕事は一日の大半がデスクワークの為、一見地味な仕事に思われがちですが、その業務内容は総務関係・予算管理・広報・契約と多岐にわたります。

特に、外部の方と職員をつなぐ大事な仕事ですので、気持ちの良い対応が求められます。

下水道は重要な社会インフラです。県民の皆さまが快適な日常生活をおくれるのも、下水道公社がその一翼を担っているからです。

庶務の仕事にも同じことが言えます。

組織で働く様々な職種の人が働きやすい環境を提供することが、庶務にとってもっとも大切な事だと感じています。

目標

まずは業務内容を熟知する事です。その上で、専門知識やスキルを身に付けたいと思います。自分自身のスキルアップが、いずれ公社にとって大きな財産になると考えています。

水環境維持改善のために

◆プロフィール

古屋 佑樹 (ふるや ゆうき)

所属：荒川左岸北部支社

担当：水質調査センター（化学職）

卒業：理工学部応用化学科

趣味：野球



入社の動機

私が就職活動するにあたり、軸としたのは「化学を使って社会に貢献できる仕事がしたい」ということでした。その中で下水道公社は水環境を支える企業として社会的に重大かつ必要不可欠な役割を果たしており、私の軸と一致していたため入社しました。

今の仕事・やりがい・感じたこと

私の所属する水質調査センターでは流域下水道の水質の維持管理を行うとともに、県内すべての水循環センターより集められた検体の重金属分析などを行う精密分析や調査研究事業を行っています。これらの事業は県民生活環境向上および地球水環境維持・改善の一役を担っており大変やりがいを感じています。

目標

現在は水質の維持管理のための技術を磨いていますが、いずれは社会に利益となるような、下水中の資源再利用の研究や微生物の多様性を利用した研究事業にも取り組みたいです。

下水道を守ることの大切さ

◆プロフィール

泉 健太郎 (いずみ けんたろう)

所属：荒川右岸支社

担当：運転管理担当（電気職）

卒業：工学部建築都市デザイン学科

趣味：スポーツ観戦（主に野球）



入社のも機

多くの方の役に立つ仕事に携わりたと思ったからです。前職は建物管理業に従事していました。その中で毎日生活する上で欠かすことのない水であり、下水は末端ではありますが、その処理工程を経て川へ戻すといった循環をすることで我々は飲料として、また作業として水を使用できています。このように下水処理施設で働くことで、多くの方の役に立っていきたくと思いました。

今の仕事・やりがい・感じたこと

私の担当業務は、水循環センター(主に汚泥処理)の電気設備に関する運転管理業務です。具体的には、電気設備の自主点検業務や監理業務、設備の不具合対応を行います。また現場作業だけでなく、修繕や委託、部材の発注等に至る書類作成も行っています。感じたことでは、書類作成においては民間と違い審査項目が多く、最初は戸惑いますが、先輩方のフォローや、数をこなすことで対応できるようになります。

目標

電気設備の監督員としての役割だけでなく、機械設備や水質管理の知識も深め幅広く対応のできる技術者になりたいと思っています。その為にもまずは担当範囲に関して受け答えられるように努力していきます。

入社して3ヶ月が経ち...

◆プロフィール

大峠 聖也 (おおごえ せいや)

所属：荒川右岸支社

担当：運転管理担当（機械職）

卒業：工学研究科応用科学専攻

趣味：旅行



入社のも機

私は電子部品業界の品質保証職から会社の機械職へ転職しました。前職では、現場の方々が安全に良い製品を作ることができるよう品質の維持を行い、その他、トラブル対応やクレーム対応の仕事をしていました。これらは会社で行う仕事とも通じる部分があり、又、学生時代に学んだ化学の知識も生かすことができると考え、入社しました。

今の仕事・やりがい・感じたこと

現在の仕事は、水処理施設の維持管理に必要な材料品や薬品の発注、トラブル対応や修繕・委託の設計書作成を行っています。

入社してから水処理や水循環の仕組みを学び、下水処理は県民の方々にとって、とても重要な仕事であることを知り、そのことにやりがいを感じています。

会社では、研修や講習会への参加・資格の取得を推奨しており、会社内だけでなく、外部とも積極的に関わり、学ぶことができる環境であると感じています。

目標

水処理施設を動かすためには、機械設備だけではなく、電気設備が必要となり、処理水の水質を知ることは、機械を制御する指標となります。水処理をする上で、それぞれが密接に関わっているので、担当している機械に関するだけでなく、多岐に渡る仕事ができるようになりたいと思います。

入社して思うこと

◆プロフィール

松本 和己 (まつもと かずき)

所属：中川支社

担当：運転管理担当（電気職）

卒業：工学部電気電子工学科

趣味：スポーツ観戦



入社の動機

私は、工学部の電気電子工学科を卒業したので電気に関連する仕事がしたいと考えていました。また、社会に貢献できるような仕事がしたいと思っていたので下水道という日常生活を送るうえで欠かすことのできない設備の維持管理等に魅力を感じました。電気に関連する仕事ができ、公共性が高く、出身地である埼玉県の方々の生活を支えることができる仕事であると感じたので入社したいと思いました。

今の仕事・やりがい・感じたこと

私は、電気職として入社しました。電気職の仕事としては、中川水循環センター内の電気設備の保守・点検業務や修繕・委託の設計業務等があります。水処理設備の運転管理・維持管理や書類の作成等の業務もあります。覚えなければならないことがたくさんありますが、多くの人々のためになっていると思うとやりがいを感じます。実際に入社してみて、仕事の内容が多岐にわたっていて様々なことについて勉強しなければならないと感じており、現在勉強中です。

目標

電気に関連する知識、技術をより多く身につけることが目標です。実際の現場でないとわからないことも多く、経験を増やし様々な状況について学びつつ、資格の取得等にも力を入れていきたいと考えています。また、電気以外の職種の内容についても少しずつ勉強して周囲の方から信頼される技術者になりたいと思います。

分析結果は日々の積み重ね

◆プロフィール

齋藤 仁 (さいとう じん)

所属：古利根川支社

担当：水質管理担当（化学職）

卒業：医療衛生学部衛生技術学科

趣味：和装



入社の動機

水質分析の知識と技術を下水道で活かせないかと考え志望しました。前職は水や土壌の分析を行う仕事をしていました。

今の仕事・やりがい・気づいたこと

毎日、コツコツ、水質分析が私の仕事です。

日々処理される水や汚泥に対して、滴定などの手分析から機器分析まで多様な分析を行っています。知識と技術を活かせる、とてもやりがいのある仕事です。

その他の仕事として、公社で行うイベントのポスターデザインや、処理場内でヒマワリやコスモスを植えて育てる等、化学とは全く異なる仕事も行っていきます。

今後の目標

下水道の仕組みをしっかりと覚えることを目標としています。

日々の水質分析は「目的」ではなく「手段」です。分析結果を出すことが目的ではありません。分析結果から水処理や汚泥処理の状況を確認、把握し、安定した処理が行えるよう最適な運転方法を検討し、運転に活かすことが必要です。

現時点ではまだ運転に関する知識が不足しています。これからの日々の業務にてさらなる知識を得て、「最適な運転方法」ができるよう日々奮闘中です。

